

第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会(ホール審査) 総評

小学3-4年生部門

●審査員 A

全体的に非常にレベルが高かったので、要改善点のみを挙げておきます。時折、ペダルを使いすぎていることがありました。ペダリングは厳密に楽譜に書き記すことはできないので、良い結果を得るためには、まずはしっかり聴かなければなりません。また、YouTube や録音などの型にはまった演奏を真似るのではなく、譜面から自分の解釈を発展させる努力をしなければなりません。

●審査員 B

皆さん、アジア大会に進まれただけあって、技術的には大変良く弾けていたと思います。音楽的にもとてもきれいに弾いていましたが、その場その場に一生懸命で、全体がよく見えていないのか、長いライン、大きな流れが足りない方が多かった様に感じました。何を表現したいのか、又その変化を自分の中ではっきりさせて、もっと思い切って全身で出せる様になってください。

●審査員 C

ユリホールというとても響きの良い会場ですので、ホールトーンを充分に考えて Ped、バランス、フレーズを表現出来るとよいと思いました。とてもよい音楽性を持っているにもかかわらず Ped がにごったり、深すぎるため思うような演奏が出来ない人がかなりいらしてもったいないと思いました。日頃からホールでの演奏を想定し練習するとよいですね。

●審査員 D

生の音で審査させて頂き感謝申し上げます。全体の課題として、

- ・左右のバランス～大きなピアノでの左右あるいは拍の音バランス
- ・ペダリングの再考～響きのよいホールでのペダルはどうするのが効果的、且つ綺麗になるか？（補助ペダル含む）
- ・テンポの設定～速すぎたり遅すぎたり揺れすぎたりしていないか

許される限り「本番」の経験を多く積まれ臨場感のある中でよいパフォーマンスが出来る様に成長されますことを期待致します。

●審査員 E

同じ楽器、同じホールで聴かせて頂き、オンラインでは味わえない一人一人の音色の違いを楽しめました。どの方もよく準備されていて立派でした。全体を通してリズム、ディナーミクの幅、ペダリングに不満がありました。コロナ禍でもホール演奏をされた皆様おめでとうございます。来年も楽しみにしています。

●審査員 F

皆さんとてもいい音で音を大切に弾かれていました。メロディーとハーモニーのバランスもよく聴いてコントロールして弾かれている方が多かったように思いました。その中でもワルツやマズルカ、ポロネーズなどそれぞれの舞曲に合ったリズムに合わせたペダルのふみ方で弾かれると良いと思いました。曲の途中でのテンポルバートやフレーズの終りに出て来る rit.は極端にやりすぎず、自然な流れをくずさない位で入れるのが良いかと思いました。全体的に皆さんとても勉強されていて素敵な演奏でした。